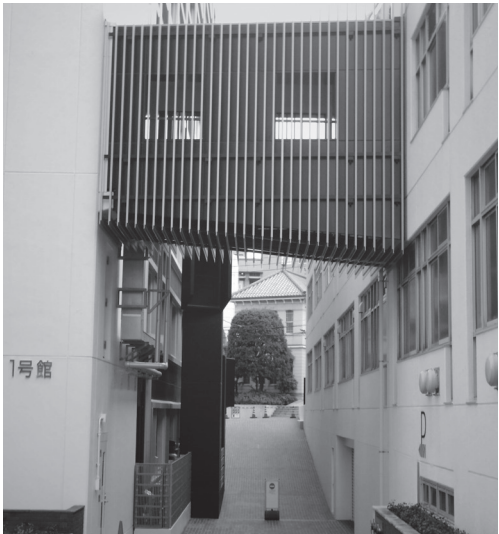




▲ 改修後の1,6号館の間の道路

神楽坂校舎1・6号館の改修工事が3月に完了した。今回の改修は主に外部環境を中心として行われ、外堀通り側に約120mの芝生ができ、景観も美しくなった。外装は他の校舎と同じモノトーンを基調にしたものに揃えられ、屋上の防水工事も施された。1号館は東側の門が撤去され、エントランスが明るい雰囲気となり、西側は段差がなくなった。来年度には、1号館を使用している応用物理学科が葛飾

キャンパスに移転するのたものとなっている。また1号館と6号館の間は駐車場に出入りするための道路となった。これにより生協のある7号館から近代科学資料館方面への通り抜けがしやすくなった。

これまでの一連の改装工事で、神楽坂校舎の耐震化工事はすべて完了したことになる。長期に渡った神楽坂地区再構築計画は来年度の葛飾キャンパス新設を機によいよ大詰めを迎える。当初の計画では、2・3・7・8・9号館を解体し、その跡地に新校舎を建設する予定だった。新校舎建設中の教室や研究室等の一時的な移転施設として九段校舎が確保され、平成18年度から使用されている。その九段校舎の使用も今年度で終了となる。新校舎の建設は行政との協議が難航したため、当面は現存の校舎を改修・継続利用されることとなり、葛飾キャンパスの新設が決定した。紆余曲折はあったものの、学生の学習・研究環境は向上していると

言えるのではないだろうか。（葛飾キャンパスについては2、3面に記載）

の秋入学への移行の話題が大きな波紋を呼んでいる。現在でも、早稲田大学の商学部や上智大学の国際教養学部などの一部の学部では秋入学を実施している。入学時期を国際標準の9月に合わせることで、日本人学生の海外留学や外国人留学生の受け入れを促進することが期待されている。しかし、入試の日程は変更しないため、ギャップタームと呼ばれる高校卒業から大学入学までの半年の空白期間が生まれる。この期間を留学、インターシップ、ボランティアなどの知識習得や社会体験に充てると提唱されているが、具体的な制度が確立されておらず未だに曖昧な状況であることも事実だ。東京大学を中心として秋入学に前向きな大学もあるが、地方大学や私立大学の現場からは

の秋入学への移行の話題が大きな波紋を呼んでいる。現在でも、早稲田大学の商学部や上智大学の国際教養学部などの一部の学部では秋入学を実施している。入学時期を国際標準の9月に合わせることで、日本人学生の海外留学や外国人留学生の受け入れを促進することが期待されている。しかし、入試の日程は変更しないため、ギャップタームと呼ばれる高校卒業から大学入学までの半年の空白期間が生まれる。この期間を留学、インターシップ、ボランティアなどの知識習得や社会体験に充てると提唱されているが、具体的な制度が確立されておらず未だに曖昧な状況であることも事実だ。東京大学を中心として秋入学に前向きな大学もあるが、地方大学や私立大学の現場からは

の秋入学への移行の話題が大きな波紋を呼んでいる。現在でも、早稲田大学の商学部や上智大学の国際教養学部などの一部の学部では秋入学を実施している。入学時期を国際標準の9月に合わせることで、日本人学生の海外留学や外国人留学生の受け入れを促進することが期待されている。しかし、入試の日程は変更しないため、ギャップタームと呼ばれる高校卒業から大学入学までの半年の空白期間が生まれる。この期間を留学、インターシップ、ボランティアなどの知識習得や社会体験に充てると提唱されているが、具体的な制度が確立されておらず未だに曖昧な状況であることも事実だ。東京大学を中心として秋入学に前向きな大学もあるが、地方大学や私立大学の現場からは

の秋入学への移行の話題が大きな波紋を呼んでいる。現在でも、早稲田大学の商学部や上智大学の国際教養学部などの一部の学部では秋入学を実施している。入学時期を国際標準の9月に合わせることで、日本人学生の海外留学や外国人留学生の受け入れを促進することが期待されている。しかし、入試の日程は変更しないため、ギャップタームと呼ばれる高校卒業から大学入学までの半年の空白期間が生まれる。この期間を留学、インターシップ、ボランティアなどの知識習得や社会体験に充てると提唱されているが、具体的な制度が確立されておらず未だに曖昧な状況であることも事実だ。東京大学を中心として秋入学に前向きな大学もあるが、地方大学や私立大学の現場からは

の秋入学への移行の話題が大きな波紋を呼んでいる。現在でも、早稲田大学の商学部や上智大学の国際教養学部などの一部の学部では秋入学を実施している。入学時期を国際標準の9月に合わせることで、日本人学生の海外留学や外国人留学生の受け入れを促進することが期待されている。しかし、入試の日程は変更しないため、ギャップタームと呼ばれる高校卒業から大学入学までの半年の空白期間が生まれる。この期間を留学、インターシップ、ボランティアなどの知識習得や社会体験に充てると提唱されているが、具体的な制度が確立されておらず未だに曖昧な状況であることも事実だ。東京大学を中心として秋入学に前向きな大学もあるが、地方大学や私立大学の現場からは

の秋入学への移行の話題が大きな波紋を呼んでいる。現在でも、早稲田大学の商学部や上智大学の国際教養学部などの一部の学部では秋入学を実施している。入学時期を国際標準の9月に合わせることで、日本人学生の海外留学や外国人留学生の受け入れを促進することが期待されている。しかし、入試の日程は変更しないため、ギャップタームと呼ばれる高校卒業から大学入学までの半年の空白期間が生まれる。この期間を留学、インターシップ、ボランティアなどの知識習得や社会体験に充てると提唱されているが、具体的な制度が確立されておらず未だに曖昧な状況であることも事実だ。東京大学を中心として秋入学に前向きな大学もあるが、地方大学や私立大学の現場からは

の秋入学への移行の話題が大きな波紋を呼んでいる。現在でも、早稲田大学の商学部や上智大学の国際教養学部などの一部の学部では秋入学を実施している。入学時期を国際標準の9月に合わせることで、日本人学生の海外留学や外国人留学生の受け入れを促進することが期待されている。しかし、入試の日程は変更しないため、ギャップタームと呼ばれる高校卒業から大学入学までの半年の空白期間が生まれる。この期間を留学、インターシップ、ボランティアなどの知識習得や社会体験に充てると提唱されているが、具体的な制度が確立されておらず未だに曖昧な状況であることも事実だ。東京大学を中心として秋入学に前向きな大学もあるが、地方大学や私立大学の現場からは

の秋入学への移行の話題が大きな波紋を呼んでいる。現在でも、早稲田大学の商学部や上智大学の国際教養学部などの一部の学部では秋入学を実施している。入学時期を国際標準の9月に合わせることで、日本人学生の海外留学や外国人留学生の受け入れを促進することが期待されている。しかし、入試の日程は変更しないため、ギャップタームと呼ばれる高校卒業から大学入学までの半年の空白期間が生まれる。この期間を留学、インターシップ、ボランティアなどの知識習得や社会体験に充てると提唱されているが、具体的な制度が確立されておらず未だに曖昧な状況であることも事実だ。東京大学を中心として秋入学に前向きな大学もあるが、地方大学や私立大学の現場からは

の秋入学への移行の話題が大きな波紋を呼んでいる。現在でも、早稲田大学の商学部や上智大学の国際教養学部などの一部の学部では秋入学を実施している。入学時期を国際標準の9月に合わせることで、日本人学生の海外留学や外国人留学生の受け入れを促進することが期待されている。しかし、入試の日程は変更しないため、ギャップタームと呼ばれる高校卒業から大学入学までの半年の空白期間が生まれる。この期間を留学、インターシップ、ボランティアなどの知識習得や社会体験に充てると提唱されているが、具体的な制度が確立されておらず未だに曖昧な状況であることも事実だ。東京大学を中心として秋入学に前向きな大学もあるが、地方大学や私立大学の現場からは

の秋入学への移行の話題が大きな波紋を呼んでいる。現在でも、早稲田大学の商学部や上智大学の国際教養学部などの一部の学部では秋入学を実施している。入学時期を国際標準の9月に合わせることで、日本人学生の海外留学や外国人留学生の受け入れを促進することが期待されている。しかし、入試の日程は変更しないため、ギャップタームと呼ばれる高校卒業から大学入学までの半年の空白期間が生まれる。この期間を留学、インターシップ、ボランティアなどの知識習得や社会体験に充てると提唱されているが、具体的な制度が確立されておらず未だに曖昧な状況であることも事実だ。東京大学を中心として秋入学に前向きな大学もあるが、地方大学や私立大学の現場からは

の秋入学への移行の話題が大きな波紋を呼んでいる。現在でも、早稲田大学の商学部や上智大学の国際教養学部などの一部の学部では秋入学を実施している。入学時期を国際標準の9月に合わせることで、日本人学生の海外留学や外国人留学生の受け入れを促進することが期待されている。しかし、入試の日程は変更しないため、ギャップタームと呼ばれる高校卒業から大学入学までの半年の空白期間が生まれる。この期間を留学、インターシップ、ボランティアなどの知識習得や社会体験に充てると提唱されているが、具体的な制度が確立されておらず未だに曖昧な状況であることも事実だ。東京大学を中心として秋入学に前向きな大学もあるが、地方大学や私立大学の現場からは

の秋入学への移行の話題が大きな波紋を呼んでいる。現在でも、早稲田大学の商学部や上智大学の国際教養学部などの一部の学部では秋入学を実施している。入学時期を国際標準の9月に合わせることで、日本人学生の海外留学や外国人留学生の受け入れを促進することが期待されている。しかし、入試の日程は変更しないため、ギャップタームと呼ばれる高校卒業から大学入学までの半年の空白期間が生まれる。この期間を留学、インターシップ、ボランティアなどの知識習得や社会体験に充てると提唱されているが、具体的な制度が確立されておらず未だに曖昧な状況であることも事実だ。東京大学を中心として秋入学に前向きな大学もあるが、地方大学や私立大学の現場からは

の秋入学への移行の話題が大きな波紋を呼んでいる。現在でも、早稲田大学の商学部や上智大学の国際教養学部などの一部の学部では秋入学を実施している。入学時期を国際標準の9月に合わせることで、日本人学生の海外留学や外国人留学生の受け入れを促進することが期待されている。しかし、入試の日程は変更しないため、ギャップタームと呼ばれる高校卒業から大学入学までの半年の空白期間が生まれる。この期間を留学、インターシップ、ボランティアなどの知識習得や社会体験に充てると提唱されているが、具体的な制度が確立されておらず未だに曖昧な状況であることも事実だ。東京大学を中心として秋入学に前向きな大学もあるが、地方大学や私立大学の現場からは

の秋入学への移行の話題が大きな波紋を呼んでいる。現在でも、早稲田大学の商学部や上智大学の国際教養学部などの一部の学部では秋入学を実施している。入学時期を国際標準の9月に合わせることで、日本人学生の海外留学や外国人留学生の受け入れを促進することが期待されている。しかし、入試の日程は変更しないため、ギャップタームと呼ばれる高校卒業から大学入学までの半年の空白期間が生まれる。この期間を留学、インターシップ、ボランティアなどの知識習得や社会体験に充てると提唱されているが、具体的な制度が確立されておらず未だに曖昧な状況であることも事実だ。東京大学を中心として秋入学に前向きな大学もあるが、地方大学や私立大学の現場からは

の秋入学への移行の話題が大きな波紋を呼んでいる。現在でも、早稲田大学の商学部や上智大学の国際教養学部などの一部の学部では秋入学を実施している。入学時期を国際標準の9月に合わせることで、日本人学生の海外留学や外国人留学生の受け入れを促進することが期待されている。しかし、入試の日程は変更しないため、ギャップタームと呼ばれる高校卒業から大学入学までの半年の空白期間が生まれる。この期間を留学、インターシップ、ボランティアなどの知識習得や社会体験に充てると提唱されているが、具体的な制度が確立されておらず未だに曖昧な状況であることも事実だ。東京大学を中心として秋入学に前向きな大学もあるが、地方大学や私立大学の現場からは

改修工事完了

～神楽坂校舎1・6号館～



全面移行に慎重な声が多い。果たして本学は秋入学についてどのような見解なのだろうか。

入試課によると、本学でも秋入学に関しての話し合いを行ったことがあるようだ。本学は秋入学の在り方について、大学が独自に決定することではなく、国の方針のもと社会全体として検討し実施をすることが本来の形であると考えている。そのため、秋入学導入の可能性の有無に対しては前向きな姿勢ではあるが全国一律に実施することが望ましく、教育システム全体の見直しを含めて、更なる調整を行った上で考えていきたいとのことだ。仮に秋入学を実施する場合には、学生にヒアリング調査や事前説明することを検討している。

秋入学の制度化に向けては、ギャップタームにおける学生や保護者の経済的負担、就職活動や国家試験および教員採用試験の時期、奨学金制度の見直しなどの課題も多く、今後も更なる議論を重ねていくことになるだろう。秋入学はメリットやデメリットを含んでおり、大学や学生はもちろん、企業や保護者など多くの人に影響を及ぼすこととなるのだ。本学としては秋入学への全面移行を早急に決定することはないが、学生側としても今後の動向には注目していきたい。

春の暖かい日差しの中、武道館で華々しく迎えられた。皮肉にも私が見ている景色は鮮やかな色を持たず、ただただ不安と焦りを身に纏うだけだった。これほど友達作り方を真剣に考えたことはない。東京という大都会で送る大学生活に、あれだけ胸をときめかせていたにもかかわらず、私の新しい生活に必要不可欠なものを落としてしまった。▼昼食を1人で過ごすことに慣れ、授業終わりに遊びの予定を立てている学生を横目に自宅へと向かう。それをなんとも思わなくなつた頃、私はいつしか感情を持たなくなつた。モノクロの世界に落ち着くことで、見えている全ての存在に次第と意味を見出さなくなつた。ぽつかりと空いた穴を見て見ぬふりをするのは楽だった。その生き方で4年間を過ごす自信はなかったが、まだ十代の私にはそれ以外の選択肢が見つからなかったのだろう。

▼思い返せば、高校生の頃と今の自分は何も変わっていない。違うのは、周りに友達がいるかないか、それだけだ。今までと環境が大きく変わったにも関わらず、自分に適応する居場所を見つけられなかった。▼新しい生活には、新しい自分が必要だ。友達になつてくれませんか？と声をかける勇気が無いのではなく、自分を新しく変える勇気が無かつたのだ。臆病な私を拾ってくれる人間はこれからも出てこないのだろう。また明日も、色のない世界の中で誰も気付くことなく無意味な私の一日は終わっていくだろう。（いけむりん）



【発行所】
東京理科大学新聞会

＜神楽坂校舎＞
東京都新宿区
神楽坂1丁目3番地
2号館 2515 部室

＜九段校舎＞
東京都千代田区
九段北1-14-6
tuspress@gmail.com
http://tuspress.jp

- 2. 3 葛飾キャンパス移転について
- 4. 5 神楽坂スイーツマップ
- 6. 7 バラエティ面
- 8 部活紹介



免許は生協がオススメ！

お問い合わせは7号館2階、トラベルセンターへ！



生協だから…

お得！
コンビニや、直接教習所へ
申し込むより安い！

安心！
卒業するまでサポート！

早く取れる！
一般よりも技能教習が優先的に取れる！

